



ふれあい 放水路

1995
(平成7年)
第18号
9月



崎屋地蔵

崎屋橋から一文橋へ向かう途中の土手の上に地蔵堂があります。普段はひっそりとしていますが、毎年八月の終りには、にぎやかに夜まつりが行われます。

江戸時代の終わり頃、子供連れの六部(巡礼)がここで倒れ、崎屋の人々の看病の痛みもなく苦しみを抜いた末、亡くなってしまいました。ただ、最期にたばこを一服したところ、穏やかな表情になったといわれています。

その子供は崎屋の阿弥陀寺に預けられ、愛育されましたが、数年後、流行病のため亡くなってしまいました。この親子を哀れに思った村人たちは崎屋の土手に葬り、旅する人々の平安を祈ったと言われています。

この地蔵堂は「六部墓」「しね(皮膚病の一種)地蔵さん」とも呼ばれ、皮膚や足の痛みに効くといわれています。信仰あつく、お堂にはたくさんのお茶碗やたばこが供えられています。

崎屋橋右岸改築工事の概要

斐伊川放水路事業では、合わせて25の橋を新築・改築します。そのうち、古志橋、崎屋橋の改築工事を今年度から実施しますが、今回は、神戸川下流にある市道橋の崎屋橋について紹介します。

崎屋橋は、現在地より約500m上流につくります。今年度は右岸側の地盤改良、橋台、及びボックスカルバート2基を施工します。

地盤改良は、地震時の液状化対策として行うもので、サンドコンパクションパイル工法という方法で地中に締め固めた砂の杭をつくり地盤全体を強固にします。

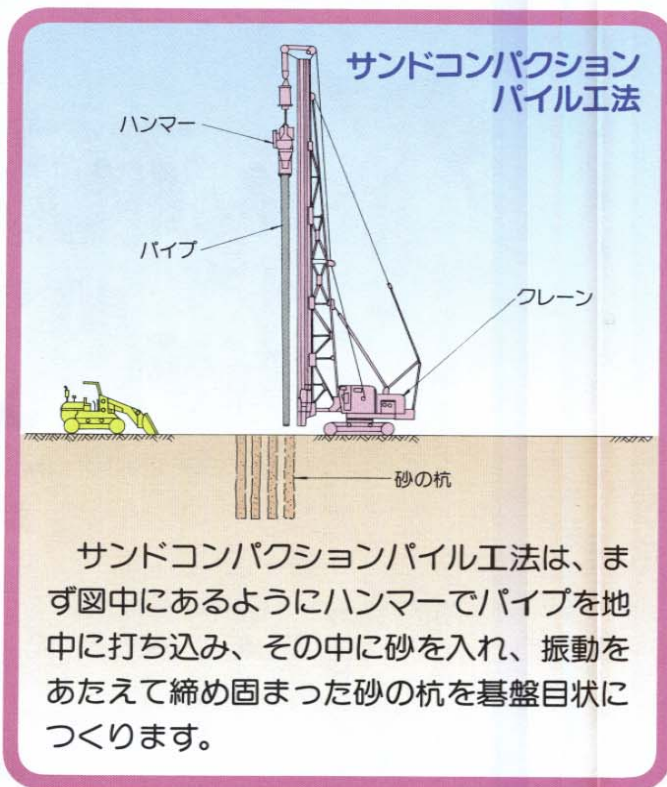
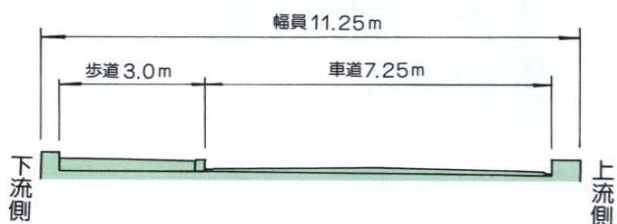
なお、施工にあたっては極力迷惑のかからない方法で施工していく予定です。

橋全体が出来上がるのは5~6年先になる予定です。



- 現崎屋橋 橋長 L=149.9m
幅員 W=4.5m (車道4.5m 歩道なし)
- 新崎屋橋 橋長 L=366.0m

標準断面図

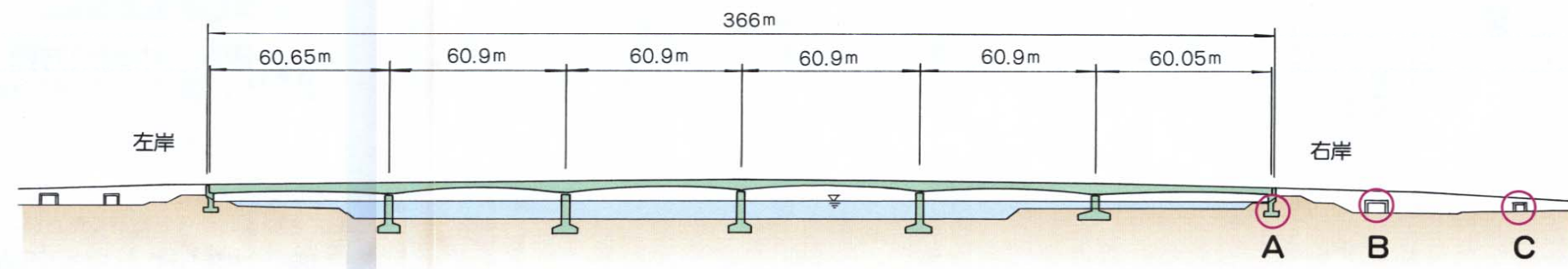
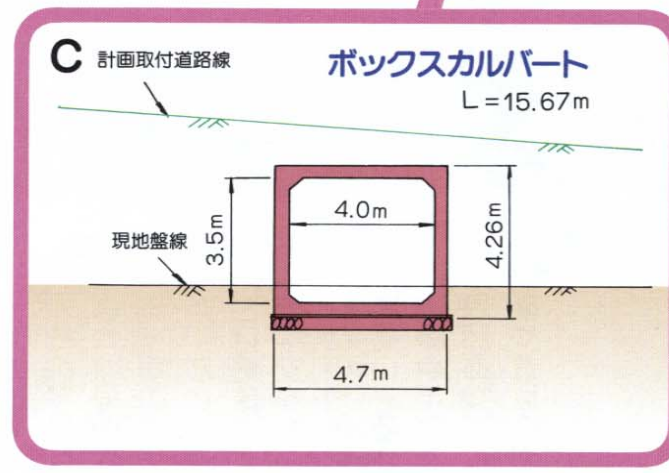
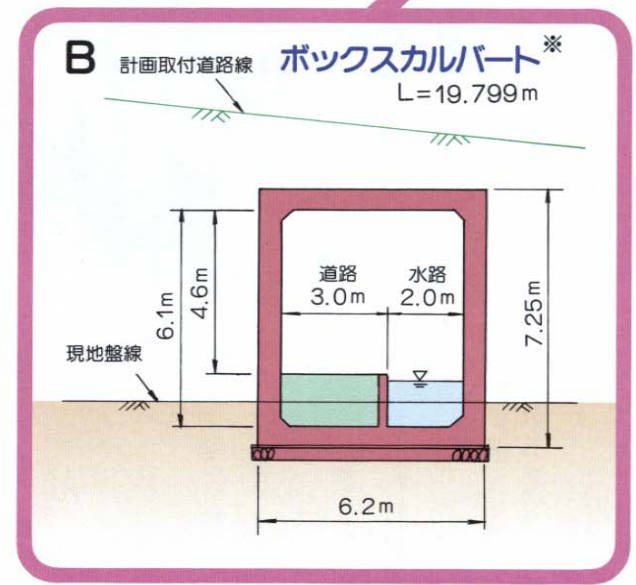
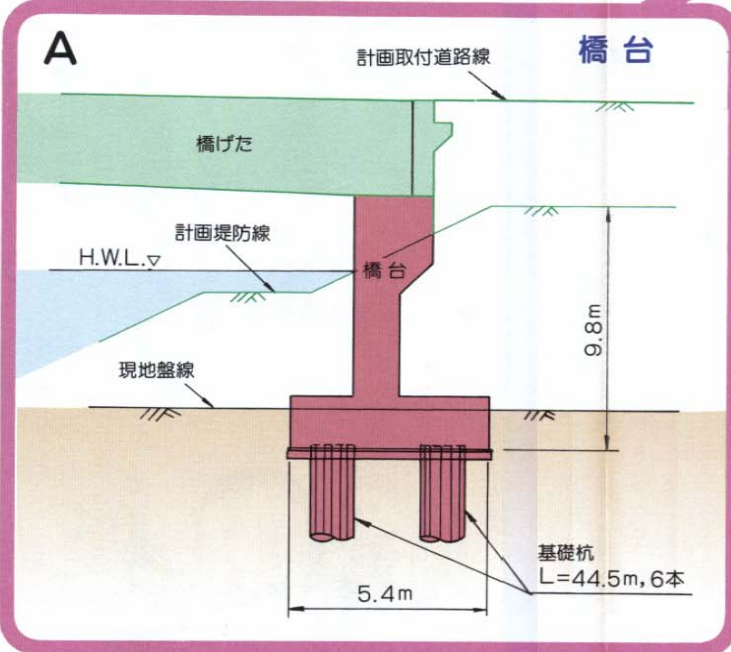
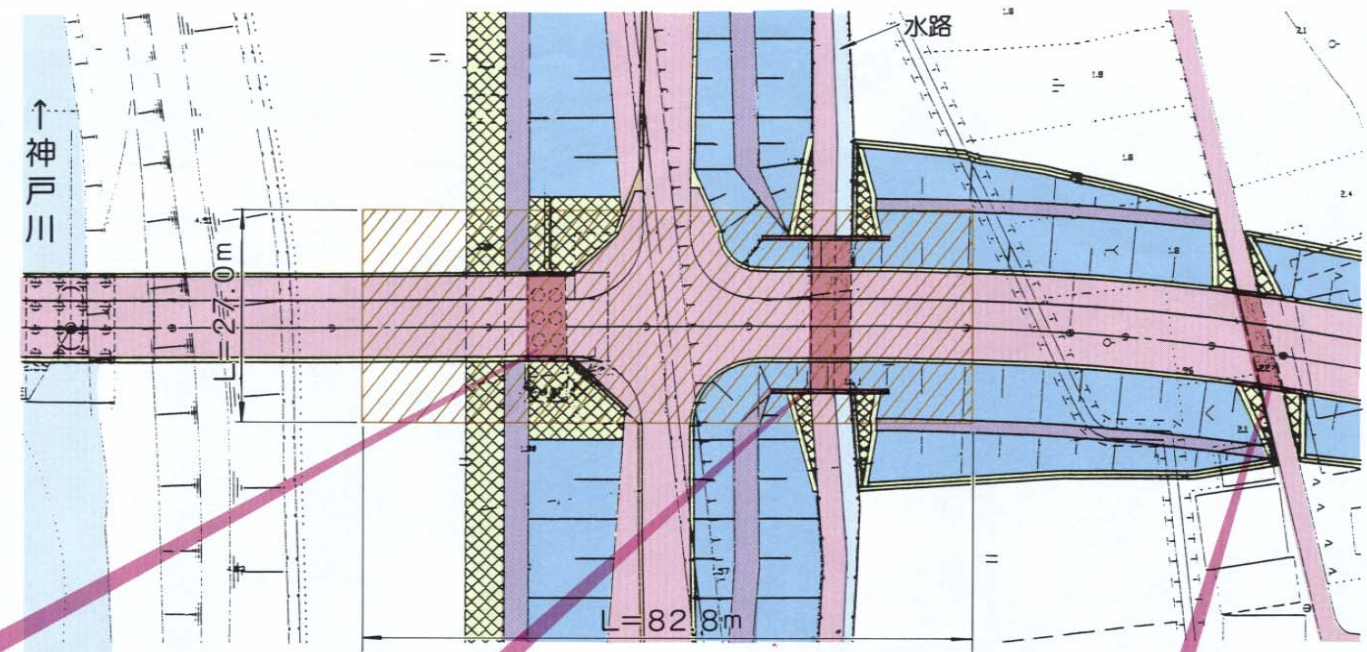


け・ん・せ・つ豆知識

ボックスカルバートとは、盛土内に道路や水路を通すためのトンネル状の箱型の構造物のことです。

凡例

今年度施工	道路・歩道
H8年度以降	ブロック・コンクリート
地盤改良範囲	盛土
	小段



ふれあい
放水路

通信

河川愛護月間

ポスター・作文優秀作品表彰式

七月の河川愛護月間の行事の一つとして、河川愛護に関するポスター及び作文を募集したところ、総数二〇二点の応募がありました。この中から、出雲市立四絡小学校四年板倉洋子さんの作文が、中国地方建設局長賞に選ばれました。



また、七月三十一日には、出雲工事事務所において事務所長賞の表彰式を行いました。受賞者は次のみなさんです。

作文の部

角夏美さん（平田市立東小六年）

ポスター小学校低学年の部

皆尾登志美さん（伯太町立井尻小一年）

金山由佳さん（出雲市立上津小三年）

ポスター小学校高学年の部

石飛寛子さん（多伎町立岐久小四年）

奥山加奈子さん（出雲市立四絡小四年）

ポスター中学校の部

加田好美さん（多伎町立多伎中二年）

天野未生さん（出雲市立河南中二年）


浜村佳宏さん（出雲市立第二中三年）

保護者の方々が見守る中、表彰式が始まると、受賞者のみなさんは緊張気味の様子で賞状を受け取りました。

その後、斐伊川放水路の事業地内を見学し、神門地区では測量器械をのぞいてみたり、クレーン車に乗ってみたりなど、工事現場の雰囲気味わいました。

何が見えるかな？→



 建設省中国地方建設局
出雲工事事務所
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当